

福島県内の活火山

活火山とは、「概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」のことです。

活火山は、「常時観測火山：気象庁が特に観測を強化している火山」と「常時観測火山以外の火山」に分類されています。

【福島県内の活火山】

福島県内には、吾妻山、安達太良山、磐梯山、沼沢、燧ヶ岳（ひうちがだけ）の5つの活火山があり、そのうち吾妻山、安達太良山、磐梯山の3つの活火山が「常時観測火山」に分類されています。

【常時観測火山】

1 吾妻山（福島市、猪苗代町、北塩原村）

直近の噴火は昭和52年に小規模な水蒸気噴火が起きており、それ以降も新たな噴気孔の形成、地温の上昇などが観測されています。

令和元年5月9日午後6時40分、火口周辺警報が発表され、噴火警戒レベルが『2』に引きあげられていましたが、同年6月17日『1』に引き下げられました。

噴火警戒レベルは引き下げられていますが、依然として火山ガスの噴出など活発な火山活動は継続しており、登山道の一部通行止めが実施されています。

2 安達太良山（福島市、郡山市、二本松市、本宮市、大玉村、猪苗代町）

直近の噴火は明治33年、沼ノ平火口でのもので、70名以上の死者を出しています。平成9年にも沼ノ平火口内で火山性ガスにより4名の死者を出しています。

沼ノ平火口内を横断する登山道、馬の背からくろがね小屋への登山道は火山性ガスのため閉鎖されているので、立ち入らないようにして下さい。

3 磐梯山（郡山市、会津若松市、喜多方市、猪苗代町、磐梯町、北塩原村、会津坂下町、湯川村）

有史以前から噴火を繰り返しており、有史以来も複数回の噴火が記録されています。

直近の噴火は明治21年水蒸気噴火により山体崩壊が起きたもので、死者460人以上という明治以降の我が国での火山災害として最大の被害が記録されています。

北側の火口壁、中ノ湯跡は火山性ガスが噴出している場所があり、危険ですので立入り長時間の滞在はしないようにして下さい。

【常時観測火山以外の火山】

4 沼沢（三島町、金山町）

約11万年前に活動を開始し、最後の噴火は5,400年前と考えられています。

5 燧ヶ岳（檜枝岐村）

約16万年前に活動を開始し、有史以来は1,544年に水蒸気噴火を起こしたと考えられています。

※気象庁、福島県HPより